

# 2024（令和6）年度 瀬戸内海考古学研究会 第10回大会

コロナ禍のため2019年度に第9回大会を開いて以来、5年ぶりの開催となります。  
第10回の記念すべき大会でもありますので、今回は統一テーマを設けず、種々の個別テーマ  
で構成することになりました。ぜひ、ご参集ください。

瀬戸内海考古学研究会代表 下條信行

日 時：2024年6月22（土）・23日（日）  
会 場：愛媛大学城北キャンパス南加記念ホール  
（城北キャンパス正門入る、すぐ右）  
懇親会：LEPO（レポ）松山三越8階（松山市大街道） 18:00開会

## 【研究発表】

6月22日（土）12:50～17:30

木材ハツリ実験の成果と課題

下條信行・谷若倫郎（瀬戸内海考古学研究会）

児玉洋志（西予市教育委員会）・持永壮志郎（愛媛県教育委員会）

田中謙（今治市）

平形銅剣の発生と展開

高山 剛（松野町教育委員会）

中・四国近畿地方における弥生時代の鏡片一面積を属性に加えた分析—

永田 權（愛媛大学大学院）

弥生時代・Ⅳ類鍛冶炉とその波及の意義

村上恭通（愛媛大学）

弥生～古墳前期の葬送儀礼—葬送における武器型品と土器—

下條信行

古墳時代における葬送儀礼—葬具の出土状況から見るその流れ—

坂本豊治（出雲弥生の森博物館）

6月23日（日）9:00～12:20

石斧製作遺跡の構造と生活—愛媛県大洲市村島宮の首遺跡を例として—

岡崎壮一（大洲市教育委員会）

貯蔵具の容量組成から見た市場南組窯産須恵器受容の意義について

—土師器・定型化須恵器との比較を通じて— 三吉秀充（愛媛大学）

愛媛県松野町所在の史跡河後森城跡の利活用—演劇化とキッズ考古学—

亀沢一平（松野町教育委員会）

つる性植物の根系に起因する佐賀県唐津城石垣の内部崩壊

坂井清治（唐津市教育委員会）

史跡能島城の保護と植生管理—特にサクラ被害からの保護について—

小野倫良（今治市）

## コメンテーター

禰宜田佳男（大阪府立弥生文化博物館館長）・佐古和枝（関西外国語大学教授）・

江崎次男（愛媛大学名誉教授）

## 【テーマ】

木材と斧

弥生青銅器

弥生鍛冶

弥生・古墳時代  
葬送儀礼

弥生集落・斜地  
石器生産

地方産須恵器

遺跡利活用

遺跡保護  
植生管理

懇親会参加者は所属・名前・連絡先を明記の上、6月10日までにメールかハガキで下記事務局  
まで連絡下さい。参加費は当日会場で申し受けます。

事務局：〒790-0861 松山市紅葉町2-57 下條信行 TEL089-933-1809

Eメール n.shimojo-kouko@aroma.ocn.ne.jp

共催：愛媛大学考古学研究室・同アジア古代産業考古学研究センター